

検討の進め方について

○ サービス分野の生産物分類策定スケジュール（想定）

年月	スケジュール（想定）
29年5月	第1回生産物分類策定研究会の開催
6月	①「生産物分類策定の基本的な考え方」の検討 ○ 策定の目的、生産物の範囲、分類基準、分類構成、作業の進め方等について検討 ○ 検討に際しては、諸外国の生産物分類、調査研究（事業所の売上高管理区分の把握）結果等を共有 ↓ 「生産物分類策定の基本的な考え方」取りまとめ ↓
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	②個別分野の検討（サービス分野） ○ 「基本的な考え方」に基づき、個別分野について検討 ○ 例えば、J S I C大分類（I卸売業・小売業を除くF～Rの12分類+α）ごとの生産物について、概ね1回程度検討 F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 H 運輸業、郵便業 J 金融業、保険業 K 不動産業、物品賃貸業 L 学術研究、専門・技術サービス業 M 宿泊業、飲食サービス業 N 生活関連サービス業、娯楽業 O 教育、学習支援業 P 医療、福祉 Q 複合サービス事業 R サービス業（他に分類されないもの） （注）検討の順番は必ずしもこの順番とは限らない ○ 個別分野ごとの分類（案）の策定作業の進め方は、「基本的な考え方」において定める ↓ サービス分野の生産物分類（案）の決定 ↓ （P）全府省庁への意見照会※ ↓ （P）政策統括官決定：各府省庁了解※
12月	
30年1月	
2月	
3月	
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
31年1月	
2月	
3月	

※ 策定された生産物分類の取扱いについては、「生産物分類策定の基本的な考え方」において定める。